

23



有史以前から海上移動や狩猟の道具として世界各地で文明と共に発生した舟のひとつがカヌーの原型だが、ひとたび大波にさらわると命の保証はない。そこで先人の叡智として南太平洋島嶼部で発明されたのが「アウトリガーラ」。船体外に張り出した浮材があることで転覆に強く、波が集まるリーフ(珊瑚礁)の外にも容易に漕ぎ出すことができる。

熊本県水俣市でフラットウォーターレーシングカヌーの日本一を目指していた柏木星詩は、海とアウトリガーカヌーに魅せられ沖縄移住。ライフガードの仕事のかたわらトレーニングを積み、国内レースに転戦し優勝を重ねる。2009年に本拠地をBEACH HILL葉山へ移す。



オーシャンパドラー 柏木星詩氏 (38)

前年、6人乗りレースに助つ人として出場、インターナショナル2週間が人生を変えた。「国内のアウトリガーカヌーレースは神奈川湘南エリアを中心に開催されます。BEACH HILL葉山の居心地や雰囲気の良さ、自分らしいられる場所と確信し、ここで働きたいと思いました」。

星詩はアウトリガーカヌーをはじめスタンドアップパドルボード、カヤック、カヌー、サーフィン、ノルディックウォーキングの海

や山におけるアクティビティを通じ、メンバーバーに「漕ぐことの楽しさと素晴らしさ」を伝えている。具体的には「水とカヌー、心身を一つに自然と繋がり、心地よさを感じながら漕いでみましょう」と呼びかけ、メンバーから絶大な信頼がある。自身のレースもハワイで開催される「MOLOKAI HIKE」6人乗りアウトリガーカヌーレース断レースや、タヒチ島で毎年開催される世界最高峰の一人乗りアウトリガーカヌーレース

「TEAITO」へ日本人初出場など、SUPやアウトリガーカヌーを中心に国内外問わず積極的に活動する。2010年にBEACH HILL葉山のメンバーとともにアウトリガーラチャーサークル『BEACH BOY'S HAMA』を立ち上げコーチとして携わる。2016年にはタヒチで開催されたアウトリガーカヌー世界選手権で選手兼監督としてチームを率いた。

星詩も38歳となり、若い頃と違いケガを負うリスクも高まるが、これまで漕いできた経験を糧に一卵性双生児の弟でラフティング元世界チャンピオン星穂とともに成長し続けている。今年14戦のうち優勝4回、それ以外もほとんど3位以内で表彰台に立つ。5年前に女優兼フランクリストの大河内奈々子と結婚。「素晴らしい伴侶と巡り会い、自分らしく生きることが叶い幸運です」。日焼けした精悍な顔がほころんだ。

（文中敬称略）